

地域活動充実支援事業
(手柄地区)
N o . 8 2020.10

手柄地区において、行政と地域がともに考
え行動していく地域活動充実支援事業につ
いてお知らせします。

第 8 回手柄地区地域活動充実支援事業 ミーティング

会議概要

日時	場所
令和2年10月31日（土）13：30～15：15	姫路市立手柄公民館 2階会議室

出席者（順不同） 自治会長、地域活動団体、学校、PTA 関係者等他約 40 名

議題

- ・講演「いつまでも地域で暮らす 『地域再発見』」

講師 夢こらば 主宰 松尾 やよい氏

議事内容/結果

1 開会

会長挨拶

- ・本日の講演の概要

・地域活動充実支援事業の紹介、昨年末に開催されたアンケート結果でも地域で暮らし続けたいと多くの方的回答された中、今回の講演が今後、地域活動に参加する人の参考となることを期待します。

講師紹介（市民活動推進課）

- ・講師プロフィールに基づき講師紹介

2 「いつまでも地域で暮らす 『地域再発見』」（松尾 やよい氏）

配布資料に基づき、講演をしていただきました。

時折、講師から問題提起（例：マンションで挨拶禁止のルールが決められたことについて、マスクをしていない人が飛行機から降ろされたことについて等）があり、4, 5人のグループでの意見交換を行い、テンポ良い話と合わせて、楽しく学び、地域について考える機会となりました。

講演内容

- 地域とは・・・地域もグループだが、グループは、違うものを排除しようとします。違うものを「新鮮・刺激・感動」と捉えて考えることができないか。
- なぜ地域活動（地域づくり）が必要なのか・・・住み続けるために、生活環境の向上のために、暮らしやすさを生み出すため、思いやり助け合うため等
- 地域活動に必要な3つの要素・・・情熱・冷静・交わり
- 地域活動組織のカタチ・・・トップダウン型とボトムアップ型（講師はボトムアップ型がおすすめ）
- 地域活動をどう捉えるか・・・マイナスではなく、プラスで捉えることが大事。

○地域参加と地域参画で高める地域力・・・地域の人たちが、知恵と自分にできることを持ち寄り、地域のためになること。

○地域活動をする人のための8つの心得を提示

○いつまでも地域で自分らしく暮らすために・・・ひとりっきりの課題にしない、みんなが動きやすい仕組みづくりを創ること等

3. 参加者より

・山陽中校長、手柄小教頭、PTA会長、姫路市社会福祉協議会支部担当から感想。

・市民活動推進課から

今回の講演では、分かりやすく楽しく地域活動について考える機会となった。今後、手柄小学校区での地域活動について、各種団体と連携し、活動を実践する組織づくりはできないか、公民館の活用検討などもゆっくりと考えていただき、市としても、活動をサポートしていきたい。

4. 閉会

次回 11月29日（日） 13時30分から

内容 セミナー「手柄山中央公園の再整備工事が始まりました」

講師 手柄山中央公園整備室

当日の様子

